

智頭急行株式会社の業務及び財務に関する資料について

鳥取県情報公開条例第38条第2項の規定により、次の資料を閲覧に供します。

〒689-1402

鳥取県八頭郡智頭町智頭2052-1

智頭急行株式会社

代表取締役社長 城平 守朗

0858-75-6600

閲覧資料

- 定 款（2022年6月16日現在）…………… 1P～5P
- 役員名簿（2022年6月16日現在）…………… 6P
- 事業報告（2021年度分）…………… 7P～14P
- 貸借対照表（2021年度分）…………… 15P
- 損益計算書（2021年度分）…………… 16P
- 株主資本等変動計算書（2021年度分）……… 17P

○定 款

第 1 章 総 則

(商号)

第 1 条 当社は、智頭急行株式会社と称する。

(目的)

第 2 条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

- (1) 地方鉄道業
- (2) 不動産賃貸業、不動産売買業及び不動産管理業
- (3) 旅行業
- (4) 広告業
- (5) 食堂、喫茶店の経営並びに飲食料品及び日用雑貨品の販売
- (6) 収入印紙及び郵便切手の売りさばき
- (7) 酒類及びたばこの販売
- (8) 前各号に付帯関連する一切の事業

(本店)

第 3 条 当社は、本店を鳥取県八頭郡智頭町に置く。

(公告)

第 4 条 当社の公告は、電子公告とする。

<http://www.chizukyu.co.jp>

ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、官報に掲載する。

第 2 章 株 式

(発行する株式の総数)

第 5 条 当社の発行する株式の総数は、20,000株とする。

(額面株式 1 株の金額)

第 6 条 当社の発行する額面株式の 1 株の金額は、50,000円とする。

(株券の種類)

第 7 条 当社の発行する株式は、すべて記名式とし、株式の種類は、1 株券、10株券及び100株券の 3 種類とする。

(株式の譲渡制限)

第 8 条 当社の株式を譲渡する場合は、取締役会の承認を受けなければなら

ない。

(株主の住所、氏名及び印鑑の届出)

第9条 当会社の株主、株式の登録質権者及び信託財産の受託者又はその法定代理人若しくは代表者は、当会社所定の書式により、住所、氏名及び印鑑を当会社に届け出なければならない。これを変更したときもまた同様とする。

2 前項の届出を怠ったため生じた損害については、当会社はその責めに任じない。

(株式の取扱)

第10条 当会社の株式の名義書換、質権の登録、信託財産の表示、株券の再発行、その他株式の取扱いに関する手続き及びその手数料については、取締役会が定める。

(株主名簿の閉鎖及び基準日)

第11条 当会社は、毎決算期の翌日からその決算期に関する定時株主総会終結の日まで株主名簿の記載の変更を停止する。

2 前項に定めるもののほか必要あるときは、あらかじめ公告して、臨時に株主名簿の記載の変更を停止し、又は基準日を定めることができる。

第3章 株主総会

(株主総会の招集)

第12条 当会社の定時株主総会は、決算期から3箇月以内に招集し、臨時株主総会はその必要がある場合に随時招集する。

(招集者及び議長)

第13条 株主総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議に基づき取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故ある時は、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。

(招集地)

第14条 株主総会は、本店所在地又は鳥取県、岡山県若しくは兵庫県地内において開催する。

(決議方法)

第15条 株主総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、出席した株主の議決権の過半数をもってこれを決する。

(議決権の代理行使)

第16条 株主が代理人により議決権を行使しようとするときは、その代理人は

代理権を証する書面を当会社に提出しなければならない。

(議事録)

第17条 株主総会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、議長並びに出席した取締役が記名押印し、会社に保存する。

第4章 取締役、監査役及び取締役会

(役員)

第18条 当社の取締役は20名以内、監査役は3名以内とする。

2 取締役及び監査役が任期中に退任しても、その法定員数を欠かないときは、補欠選任を行わないことができる。

(役員を選任)

第19条 取締役及び監査役は、株主総会において選任する。

2 取締役及び監査役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数で行う。

3 取締役の選任については、累積投票によらないものとする。

(任期)

第20条 取締役の任期は、就任後2年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとし、監査役の任期は、就任後4年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとする。

2 補欠又は増員によって就任した取締役の任期は、他の取締役の残任期間とする。

3 補欠によって就任した監査役の任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第21条 取締役会の決議により、顧問を置くことができる。

(代表取締役及び役付取締役)

第22条 当社に取締役会長1名、取締役副会長2名、取締役社長1名、必要に応じて専務取締役及び常務取締役若干名を取締役会の決議により選任することができる。

2 当社の業務は取締役社長が統括し、専務取締役及び常務取締役は取締役社長を補佐し、定められた事務を分掌する。

取締役社長に事故あるときは、取締役会の決議をもってあらかじめ定めた順序により他の取締役が取締役社長の職務を代行する。

3 当社を代表すべき取締役は、取締役会の決議により選任する。数人を選

出した場合においては、各自当会社を代表する。

(取締役)

第23条 取締役は、取締役会を組織し、会社の業務執行を決定する。

- 2 取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故あるときは、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。
- 3 取締役会の招集通知は、会日より3日前までに発するものとする。ただし緊急の必要がある場合には、その期間を短縮することができる。

(取締役会の決議方法等)

第24条 取締役会の決議は、取締役の過半数が出席し、その過半数をもって決する。

- 2 取締役会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、出席した取締役及び監査役が記名押印し、会社に保管する。

(役員報酬)

第25条 取締役及び監査役の報酬総額は、株主総会において各別に決定し、その配分は、取締役の報酬については取締役会において決定し、監査役の報酬については監査役の協議によって決定する。

第5章 計 算

(営業年度及び決算期)

第26条 当会社の営業年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとし、毎営業年度末日を決算期とする。

(利益配当金)

第27条 利益配当金は、毎営業年度末日の株主名簿記載の株主又は登録質権者にこれを支払う。

- 2 利益配当金は、その支払提供の日から3年を経過しても受領されないときは、当会社は支払の義務を免れるものとする。

○役員名簿

(2022年6月16日現在)

取締役会長	平井 伸治	取締役	萩原 誠司
取締役副会長	服部 洋平		庵逄 典章
	小谷 敦		梅田 修作
代表取締役社長	城平 守朗		石丸 文男
代表取締役常務	稲田 雅也		八木 俊英
取締役	深澤 義彦	監査役	丸山 明則
	吉田 英人		
	金児 英夫	広田 一恭	
	青木 秀樹	三宅 智章	

○第36期（2021年度）事業報告

I. 営業の概況

【業務執行状況】

輸送の安全確保を最優先に全社員が一丸となって取組み、「社員の責に起因した鉄道運転事故」は無事故で終了いたしました。

1. 輸送人員

(1) 特急列車 378,868人

特急列車の輸送人員は、378,868人（前期比121.7%、前々期比44.6%）と新型コロナウイルス感染症の影響を受けた期間が限定的だった前々期を469,883人下回りました。これは、変異株等による新型コロナの感染拡大や縮小に応じて、緊急事態措置又はまん延防止等重点措置の適用地域が順次拡大や縮小を繰り返し、更には、それらの適用期間外・地域外における感染の高止まり等を踏まえた都道府県知事からの県境を跨ぐ移動の自粛要請等を受けて、輸送人員は減少や回復基調を繰り返しながらも、年度間を通じて新型コロナの影響が大きかったこと等により、前々期を大きく下回りました。

列車別には、スーパーはくと号は264,235人（前期比120.8%、前々期比44.1%）と前々期を334,755人下回り、スーパーいなば号は114,633人（前期比123.7%、前々期比45.9%）と前々期を135,128人下回りました。

運行期間が4ヵ月不足だった1994年度を除くと、前年度を67,543人上回ったものの開業以来27年間で2番目に少ない輸送人員となりました。

(2) 普通列車 185,921人

普通列車の輸送人員は、185,921人（前期比91.3%、前々期比67.8%）と前々期を88,283人下回りました。これは、佐用高校の通学利用が減少していることに加えて、新型コロナの感染拡大に伴う旅行、外出の出控え等の影響による減少等により、前々期を大きく下回りました。

運行期間が4ヵ月不足だった1994年度を除くと、開業以来27年間で最も少ない輸送人員となりました。

《輸送人員》

(単位：人、%)

区 分		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第36期累計
スーパー はくと	人 員	36,973	47,654	106,091	73,517	264,235
	乗車率	12.5	17.9	38.3	25.6	23.4
	前期比	149.7	89.0	125.9	130.8	120.8
	前々期比	24.9	28.9	66.8	58.1	44.1
スーパー いなば	人 員	19,207	22,329	45,140	27,957	114,633
	乗車率	15.6	19.2	37.7	22.7	23.8
	前期比	155.9	95.4	140.1	113.1	123.7
	前々期比	30.0	32.5	67.8	55.5	45.9
特急列車 合 計	人 員	56,180	69,983	151,231	101,474	378,868
	乗車率	13.4	18.3	38.1	24.7	23.5
	前期比	151.8	91.0	129.9	125.4	121.7
	前々期比	26.4	29.9	67.1	57.4	44.6
普通列車	人 員	47,002	47,652	44,712	46,555	185,921
	乗車率	142.3	81.4	68.5	99.4	91.3
	前期比	62.7	64.2	60.6	90.9	67.8
	前々期比					

2. 収支状況

(1) 営業収益 1,799,870,362円

営業収益は、1,800百万円(前期比94.3%、前々期比65.1%)と新型コロナウイルス感染症の影響を受けた期間が限定的だった前々期より963百万円の大幅な減となりました。

ア. 旅客運輸収入 575,568,956円

旅客運輸収入は、576百万円(前期比113.4%、前々期比44.7%)と新型コロナウイルスの影響等により輸送人員が大きく減少し、前々期より711百万円の大幅な減となりました。

イ. 運輸雑収 1,224,301,406円

運輸雑収は、1,224百万円(前期比87.4%、前々期比82.9%)とスーパーはくと6号及び9号が5月10日から運休になったこと等により受取車両使用料が減少し、前々期より252百万円の減となりました。

(2) 営業費用 2,221,299,665円

営業費用は、2,221百万円(前期比96.5%、前々期比87.2%)と前々期と比較して高架橋などの土木構造物修繕の減少等に伴う修繕費の減少、スーパーはくと6号及び9号の運休等による経費の減少、新規投資を抑制したことに伴う減価償却費の減少等により326百万円の減となりました。

(3) 営業損益 △421,429,303円、経常損益 △282,838,230円

営業損益は、△421百万円と前々期より638百万円の減となり、経常損益は、△283百万円と法人税の欠損金繰戻還付金、外貨定期預金の為替差益等による営業外収益の増加等により赤字幅が縮小したものの前々期より501百万円の減となり、大幅な減収減益となりました。

前年度の経常損益と比較すると減収となったものの73百万の赤字幅縮小となりました。

第36期の経常損益の赤字額は、開業以来27年間で2番目となりました。

なお、国及び自治体からの補助金等を計上する特別損益を加味した実質的な赤字である税引前当期純損益は△95百万円となりました。

(4) 収支状況

区 分		第36期(2021年度)	(前期比) (前々期比)	第35期(2020年度) 差額	第34期(2019年度) 差額
収入	営業収益	1,799,870,362	(94.3) (65.1)	△107,819,745	△963,150,903
	旅客運輸 収入	575,568,956	(113.4) (44.7)	68,051,392	△710,727,740
	運輸雑収	1,224,301,406	(87.4) (82.9)	△175,871,137	△252,423,163
費用	営業費用	2,221,299,665	(96.5) (87.2)	△80,759,022	△325,583,782
	人件費	497,791,626	(101.2) (101.8)	6,144,730	8,640,723
	修繕費	711,293,396	(85.3) (78.5)	△122,265,261	△194,783,777
	動力費	268,789,355	(137.1) (95.0)	72,678,109	△14,089,156
	経 費	357,563,029	(105.3) (95.2)	17,965,203	△17,926,305
	諸 税	59,259,575	(92.7) (81.9)	△4,655,261	△13,135,994
	減価償却費	326,602,684	(86.6) (77.6)	△50,626,542	△94,289,278
営業損益		△421,429,303	(-) (-)	△27,060,723	△637,567,121
営業外収益		142,408,373	(258.5) (979.8)	87,317,297	127,874,364
営業外費用		3,817,300	(22.7) (31.7)	△13,030,057	△8,208,828
経常損益		△282,838,230	(-) (-)	73,286,631	△501,483,929
特別利益		254,215,067	(270.8) (1,372.4)	160,342,667	235,692,253
特別損失		66,394,716	(373.7) (279.9)	48,626,372	42,670,762
税引前当期純損益		△95,017,879	(-) (-)	185,002,926	△308,462,438
法人税等		1,136,000	(100.0) (1.7)	0	△64,398,400
当期純損益		△96,153,879	(-) (-)	185,002,926	△244,064,038

3. 運転計画等

新型コロナウイルス感染症の影響によるご利用状況、社会情勢等を踏まえ、2021年5月10日よりスーパーはくと6号及び9号の運転を休止いたしました。

2022年春のダイヤ改正を3月12日に実施し、スーパーはくと6号及び9号は、臨時列車とし、お客様のご利用が見込める場合に週末等を中心に運転することとしました。また、恋山形駅への列車利用促進を目的として、平日にも土休日にも「上り・下りの普通列車各1本計2本を恋山形駅に15分間停車させる」ダイヤを実施することとしました。

4. 輸送の安全確保のための取組み

安全対策につきましては、経営トップと現場が一体となって安全を最優先とする企業風土の構築に向けて安全を更に確かなものとするため、社員一人ひとりが、「安全最優先の意識の醸成」を図りました。また、部外機

関との協力体制の確立に向けて、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じた上で、沿線の消防署、警察署等と協議や重大事故・事件等の対応訓練を実施するなど連携を深めるとともに、異常時対応能力の向上に努めました。

新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な収入減のなかにおいても、安全な列車の運行を確保するために必要な「激甚化する自然災害への備え」、「設備の老朽化対策」、施設設備及び車両の検査・修繕及び更新等を実施して、安全の確保と品質の維持向上に努め、お客様・社員の感染防止と安全・安心な鉄道の提供の両立に取り組みました。

〔主な修繕の状況〕

(単位：千円)

主な工事		金額	補助事業
線 路	志戸坂トンネル修繕（第1工区）	22,100	補
	小計	22,100	
車 両	HOT3500系全般検査工事	27,177	
	HOT7000系TC装置整備工事	30,534	
	HOT7000系冷房装置整備工事	24,888	
	小計	82,599	
合計		104,699	

〔主な設備投資の状況〕

(単位：千円)

主な工事		金額	補助事業
電 路	運行管理システム機器更新	55,000	補
	上郡・岩木間外ATS-P装置更新	44,600	補
	平福・大原間軌道回路装置更新（設備支給材料製作）	12,700	補
	通信集中監視装置更新	11,600	補
	小計	123,900	
合計		123,900	

※主な修繕及び主な設備投資については、10,000千円以上の工事を記載しています。

5. 新型コロナウイルス感染症への対応状況等について

「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」、国並びに兵庫県知事、岡山県知事及び鳥取県知事から発出されたメッセージ等に沿って、感染防止対策を徹底しました。

列車内の新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、車内の換気装置の常時使用の徹底、お客様への案内放送によるご協力の呼びかけ等を行いました。駅設備の対策として、国の補助金を活用して、全14駅の抗菌加工を行いました。

新型コロナワクチン職域接種については、7月、8月の実施により、希望する社員全員の2回目までの接種を完了しました。追加接種（3回目接種）については、2022年度早期の完了を目指して、3月下旬から開始しました。

〔主な新型コロナウイルス感染症対策の状況〕

(単位：千円)

項目	内容	金額	補助事業
駅設備抗菌	駅舎内にある窓口カウンター、手すり、ドア握り棒、券売機等に抗ウイルス・抗菌材を噴霧し、抗菌加工を実施	946	補

6. 主な企画きっぷの発売状況等

JR西日本と連携の企画きっぷの「京阪神往復割引きっぷ」、「広島往復割引きっぷ」、「岡山往復割引きっぷ」、「東京往復割引きっぷ」の4種類の発売状況は、新型コロナウイルス感染症の影響で旅行、企業の出張の自粛等が行われ、特に山陰からの送り出しが大幅に落ち込んだこと等により、4種類とも特急列車の輸送人員の前々期比よりも大幅に減少し、第36期の累計では82.3%～67.1%減となりました。

智頭急行独自の企画きっぷにつきましては、特急列車関係の普通乗車券又は普通回数券と同時にご利用可能な「自由席回数特急券」が前々期比22.4%増、普通列車関係の免許返納者の方が購入できる「優ユウきっぷ」が前々期比10.3%増となりました。これは、特定のお客様の購入回数が増加したこと等により、前々期を上回りましたが、その他の企画きっぷは前々期を下回りました。

(1) JR西日本と連携

従来の特別企画きっぷ（カッコ内は前々期比）

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第36期累計	前々期増減
京阪神往復割引きっぷ	1,138枚 (9.9%)	1,651枚 (14.5%)	2,893枚 (25.5%)	1,540枚 (23.3%)	7,222枚 (17.7%)	△33,668枚
広島往復割引きっぷ	961枚 (22.7%)	1,015枚 (23.2%)	2,018枚 (52.2%)	1,025枚 (36.8%)	5,019枚 (32.9%)	△10,242枚
岡山往復割引きっぷ	570枚 (14.7%)	611枚 (15.1%)	1,165枚 (29.7%)	775枚 (27.3%)	3,121枚 (21.3%)	△11,547枚
東京往復割引きっぷ	99枚 (12.1%)	80枚 (8.0%)	385枚 (41.6%)	186枚 (27.7%)	750枚 (21.9%)	△2,668枚

※期間限定特別きっぷ

「はくと往復WEB早トリきっぷ」(鳥取～三ノ宮、鳥取～大阪・新大阪)

(2021年10月1日～2022年3月31日発売)

第3四半期2,001枚、第4四半期1,315枚、合計3,316枚の発売でした。

※京阪神往復割引きっぷ、広島往復割引きっぷ、岡山往復割引きっぷは、3月末で発売を終了しました。

(2) 智頭急行独自

ア. 特急列車関係（カッコ内は前々期比）

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第36期累計	前々期増減
定期券用自由席回数特急券 自由席特急券430円を 1枚200円 5枚綴り1,000円	206冊 (71.3%)	185冊 (76.1%)	247冊 (84.3%)	206冊 (97.2%)	844冊 (81.4%)	△193冊
自由席回数特急券 自由席特急券430円を 1枚300円 5枚綴り1,500円	52冊 (152.9%)	37冊 (148.0%)	36冊 (87.8%)	50冊 (116.3%)	175冊 (122.4%)	+32冊

イ. 普通列車関係（カッコ内は前々期比）

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第36期累計	前々期増減
智頭線1日 フリーきっぷ 大人 1,200円 小児 600円	884枚 (72.0%)	2,538枚 (67.7%)	1,106枚 (77.7%)	1,768枚 (108.5%)	6,296枚 (78.4%)	△1,735 枚
普通列車 ペアきっぷ 2名で2,000円	94枚 (43.3%)	225枚 (67.4%)	141枚 (57.1%)	177枚 (74.7%)	637枚 (61.5%)	△398枚
特殊回数乗車券 3,000円 (100円券/33枚綴り)	23冊 (109.5%)	21冊 (84.0%)	22冊 (73.3%)	22冊 (104.8%)	88冊 (90.7%)	△9冊
楽ラクきっぷ (70歳以上の方) 2,500円 (100円券/33枚綴り)	31冊 (83.8%)	35冊 (109.4%)	23冊 (69.7%)	26冊 (104.0%)	115冊 (90.6%)	△12冊
優ユウきっぷ (運転免許返納者) 1,500円 (100円券/33枚綴り)	20冊 (133.3%)	17冊 (85.0%)	28冊 (103.7%)	21冊 (131.3%)	86冊 (110.3%)	+8冊

7. 2021年度の鉄道運転事故等について

2021年度は、自社線内での鉄道運転事故、インシデントの発生はなく、比較的安定した輸送を提供できました。

ア. 主な遅延概況

JR内人身事故、踏切支障等の影響により、1ヵ月あたりの平均遅延本数28本、平均遅延時分182分でした。

イ. 主な輸送障害（運休又は30分以上の遅延）

JR線内の遅れによるものが16件、智頭線内の遅れによるものが7件発生しました。

※台風接近等に伴う計画運休については、輸送障害に含まれません。

8. 利用促進に向けた取組みについて

「既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業 交通連携型（観光庁補助事業）」を活用し、上郡町、佐用町、美作市、西粟倉村、智頭町、旅行会社等と一緒に、アフターコロナ、Withコロナを見据えた「デジタルスタンプラリー」、イベント車両「あまつぼし（天津星）」及び「スーパーはくと」の団体貸切列車を含むモニターツアーを7本催行すること等により、交通を軸に智頭急行沿線を観光拠点として再生・高付加価値化の推進を図りました。

2020年7月10日から第三セクター鉄道等協議会に加盟する全国40社の鉄道会社が一齐に開始した「鉄印帳」の販売及び「鉄印」の記帳（記帳代＋各社の乗車券）の第36期については、「鉄印帳」78冊（累計453冊）、「鉄印帳フリー版」167冊（累計167冊）及び「鉄印帳金色」79冊（完売）の合計324冊の販売と前期を51冊下回ったものの、「鉄印」3,113枚（累計5,857枚）、「コラボ鉄印」（期間限定）815枚及び「鉄印 平福駅」（期間限定）932枚の合計4,860枚の記帳と前期を2,116枚上回り、引き続き多くのお客様にご

利用いただきました。

また、鳥取県内の公共交通を担うバス協会、ハイヤータクシー協会及び若桜鉄道と共同で鳥取県補助金を活用し、便利で楽しい“公共交通利用促進コラボ企画”の動画「公共交通にのらNight」を作成して、当社、鳥取県、関係機関等のホームページでの公開等により、安全安心で便利な鉄道を始めとする公共交通をご利用いただくよう呼びかけました。

【会社に対処すべき課題】

- (1) 安全輸送
 - ・安全最優先の意識の醸成、判断力の向上
 - ・社員一人ひとりの知識、技術・技能の向上
 - ・社員相互間・部外関係機関と連携した対応能力強化
 - ・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組みの強化
- (2) CS向上（お客様満足度の向上）
 - ・お客様が快適にご利用いただける列車運行、使いやすい商品の充実
 - ・お客様にご満足いただける質の高いサービスの提供
- (3) 地域社会
 - ・地域と連携し、地域経済の持続的な発展への貢献
- (4) 財務運営
 - ・新型コロナ禍において、従来の業務の進め方、設備管理等の見直しによる経費削減
 - ・アフターコロナ、Withコロナを見据えて商品の充実を図ることなどによる収入の安定確保
 - ・補助金等の積極的な活用及び業務の効率化による効率経営
- (5) CSR（企業の社会的責任）
 - ・地域社会から信頼される企業を目指す
 - ・社員一人ひとりのコンプライアンスの理解の深度化及び誠実かつ公正な事業活動の実施
 - ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえでの適切な輸送力の確保
- (6) 人材育成
 - ・自己研鑽の意欲、業務を通じての知識及び技術・技能の習得等
 - ・JR西日本、協力会社等と連携した人材育成
- (7) ES向上（従業員満足度の向上）
 - ・明るく働きやすい職場環境を目指す
 - ・社員の健康維持・増進等への取組み

【営業成績及び財産状況の推移】

区 分	第33期	第34期	第35期	第36期(今期)
営業収益(千円)	2,693,311	2,763,021	1,907,690	1,799,870
当期純損益(千円)	111,788	147,910	△281,157	△96,154
1株当り当期純損益(円)	12,421	16,434	△31,240	△10,684
資産合計(千円)	5,932,684	6,060,434	5,654,949	5,571,603
営業係数	95.1	92.2	120.7	123.4

II. 会社の概況（2022年3月31日現在）

1. 主な事業内容

鉄道事業法による旅客の運送業及びこれに附帯又は関連する事業

2. 主な事業所

本社 鳥取県八頭郡智頭町智頭
運輸部 鳥取県八頭郡智頭町智頭
大原事業所 岡山県美作市古町

3. 株式の状況

期末の株式の状況は、次のとおりであります。

- ① 会社が発行する株式の総数 20,000株
- ② 発行済株式の総数（額面普通株式） 9,000株
- ③ 1株の金額 50,000円
- ④ 株主総数 45名
- ⑤ 株主 別掲のとおり

なお、当社の大株主への出資はありません。

4. 社員の状況

	社員数 (人)	前期末比増減 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年月)
総務部	8	1	42.3	18年 11ヶ月
運輸部	66	1	41.1	16年 11ヶ月
合計	74	2	41.2	17年 2ヶ月

※常勤役員(2人)、契約社員(5人)を除く

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部	5,571,602,674	負債の部	210,269,806
流動資産	3,591,039,124	流動負債	210,269,806
現金・預金	2,572,099,490	未払金	177,504,947
未収運賃	287,650,564	未払費用	6,580,990
未収入金	61,929,694	未払法人税等	4,131,900
未収収益	11,666,732	預り金	1,893,739
有価証券	300,000,000	前受運賃	1,814,560
貯蔵品	335,418,856	前受収益	18,263,670
前払費用	15,292,088	仮受金	80,000
未収還付消費税等	6,691,700		
その他の流動資産	290,000		
固定資産	1,964,585,675		
鉄道事業固定資産	1,962,004,115		
有形固定資産	1,952,977,024		
無形固定資産	9,027,091	純資産の部	5,361,332,868
投資等	2,581,560	資本金	450,000,000
出資金	500,000	利益剰余金	4,911,332,868
差入保証金	1,910,000	利益準備金	2,700,000
預け金	171,560	その他の利益剰余金	4,908,632,868
繰延資産	15,977,875	別途積立金	2,460,000,000
開発費	15,977,875	固定資産圧縮積立金	2,540,000,000
		繰越利益剰余金	△ 91,367,132
資産合計	5,571,602,674	負債・純資産合計	5,571,602,674

損 益 計 算 書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

	科 目	金 額	
経 常 損 益 の 部	鉄道事業営業利益		
	営業損益の部		
	営業収益		
	旅客運輸収入	575,568,956	
	運輸雑収	1,224,301,406	1,799,870,362
	営業費		
	運送費	1,676,972,241	
	案内宣伝費	45,711,890	
	厚生福利施設費	1,677,760	
	一般管理費	111,075,515	
	諸税	59,259,575	
	減価償却費	326,602,684	2,221,299,665
	鉄道事業営業損益		△ 421,429,303
	営業外損益の部		
	営業外収益		
受取利息	6,069,850		
受取配当金	10,000		
雑収入	136,328,523	142,408,373	
営業外費用			
繰延資産償却	2,319,597		
雑支出	1,497,703	3,817,300	
經常損益		△ 282,838,230	
特 別 損 益 の 部	特別利益		
	補助金	177,414,195	
	前期損益修正益	76,800,872	254,215,067
	特別損失		
	固定資産除去損	17,649,825	
固定資産圧縮損	48,744,891	66,394,716	
	税引前当期純損益		△ 95,017,879
	法人税等		1,136,000
	当期純損益		△ 96,153,879

株主資本等変動計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

	株主資本								株主資本合計	評価・ 換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式				
		資本準備金	その他 資本剰余金		その他利益剰余金							
					別途積立金	固定資産圧縮 積立金	繰越 利益剰余金					
前期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,740,000,000	2,540,000,000	△ 275,213,253	0	5,457,486,747	0	0	5,457,486,747
当期変動額												
剰余金の配当									0			0
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立て									0			0
積立金の積立					△ 280,000,000		280,000,000		0			0
役員賞与の支給									0			0
過年度税効果調整額									0			0
当期純損益							△ 96,153,879		△ 96,153,879			△ 96,153,879
当期変動額合計	0	0	0	0	-280,000,000	0	183,846,121	0	△ 96,153,879	0	0	△ 96,153,879
当期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,460,000,000	2,540,000,000	△ 91,367,132	0	5,361,332,868	0	0	5,361,332,868